

NPO 法人岡崎がくどうの会

2023年度 学童保育指導員研修 レポート

【クラブ】 (なかよしクラブ)

【名前】 (吉川 美里)

① 研修名 (子どもの体の構造・機能と成長・発達)
(心の健康)

② 心にのこったことや気づいたことや学んだこと、今後の実践に活かしていきたいことなど、感想もふくめてお書きください(自由記述)。

コロナによる規制も少しずつ緩くなり、あまりに長期間だったため“心の健康”に関して子どもたちへの影響や改善点等を知っておいた方が良いことがあればと思い受講しました。

学童期における食事の大切さは常々思っている事柄ですが、食物アレルギーに関しては学ぶことがまだまだたくさんあると感じました。アトピー性疾患によるたんぱく質制限や極端な制限食は、栄養素に欠け成長障害をきたす。間違った自己判断で発育に大きく影響することがよく分かり、意識しておかなければいけないと思いました。

印象深い例が2つあり、1つ目は小学生の1年間の体重の変化を調べたグラフで、増減の不安定さの原因が 給食の有無によると分かり、そこからネグレクトを発見できた事例です。心の状態は体の成長にも影響があり、指導員として細かい気づきの重要性を感じました。2つ目はコロナで子どもたちに色々な制限をかけてきた期間が長く、“マスクがコミュニケーション能力に影響しているのでは?”というよく耳にする言葉です。が、世界的に調査した表を読み取ると、外国に比べると目で意思疎通を得意とする日本人は、逆に 思ったより順応性が高いと考えられるということが分かりました。コロナという大きなテーマとしてはこれからまだ課題がありますが、一つずつ丁寧に乗り越えていこうと思います。

中でも特に“睡眠時間の確保の大切さ”と“ネット依存症の怖さや影響”について、学んだことが多くありました。テレビのつけっぱなしで明るい環境になっていたり、夜更かしが良くないのは理解できるが、実は何時に寝るのが良いかというより睡眠時間の長さが大切だということでした。子どもは自分で決められず、大人の影響が大きいといえます。簡単にまとめると、①“放置”ということが一番最悪 ②乳幼児期から一人でテレビを長時間見せっぱなしにしない ③家族とのコミュニケーション ④けじめのある生活(明るい環境で睡眠を妨げない)など大人側が予防、気を付けてあげられることがまだまだあるということです。

講義の中心は、気になる子どもたちや発達障がいの子供たちについての話でした。事例から対応のコツとして、見通しが立てられるよう紙に書いて示す等がありました。そこで、集団生活としての配慮は“皆が 納得出来ることに意味がある”ということがポイントだと感じました。周りの子に理由を理解してもらうなど、気づきを大切にしていきたいです。

テーマと内容が自分の思っていたものとすこし相違していましたが、医師である講師から専門的な医療側の対応も知ることが出来ました。学んだことをしっかり頭において保育していこうと思います。